

コ ー ス	歯科麻酔学 (Dental Anesthesiology)		
学年・期・単位	第4学年・前期・1単位	科目担当責任者	吉田 和市 (生体管理医学講座 麻酔科学分野・教授)
オフィスアワー	毎日9:00～17:00 (1研4F 教授室) または、Eメールにて随時	メールアドレス	yoshida@kdcnet.ac.jp まで
一般目標 (GIO)	<p>歯学部における麻酔科学は、歯科口腔外科手術時の全身麻酔や鎮静の周術期管理、全身疾患を有する歯科患者の術中管理、歯科治療時の全身的偶発症への救急処置、顎顔面領域の疼痛性疾患や麻痺性疾患の治療、救急蘇生等、その守備範囲は広い。しかも麻酔科における患者管理は、直接生命に関係する医療行為であり、呼吸、循環、代謝を主とする生理機能に対する理解と、薬理学的な知識は必要不可欠である。本講義では、手術・麻酔の心身への影響を配慮した安全で質の高い周術期管理を行うための知識・理論・技術を習得し、生体に侵襲のより少ない麻酔法を修得する。また、歯科医師として口腔内の疾患にのみに気をとられることなく、患者さんを全身的に診ることができる能力を身につけ、しかも愛情を持って全人的に接することの出来る心のやさしさを身につける。習熟度の確認のため授業の最後10分を用いて小テスト並びに質疑応答 (Minutes Paper) を実施する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 麻酔学総論	麻酔の歴史・概念および理論・種類について理解する。
2. 歯科治療時の患者管理	全身的合併症を有する患者の病態を理解する。
3. 局所麻酔法	局所麻酔薬の作用機序、吸収と代謝、麻酔効果に及ぼす因子、添加血管収縮薬を理解する。局所麻酔の実際に実施する方法を学び、局所麻酔時の全身的合併症と局所的合併症について理解する。
4. 精神鎮静法	精神鎮静法の目的、適応と禁忌、種類について理解する。
5. 全身麻酔法	全身麻酔法を実施するにあたり、自律神経系、呼吸、循環、酸塩基平衡などの患者さんの生理状態を把握し、吸入麻酔法、静脈麻酔法などの全身麻酔の実際、筋弛緩薬、特殊な麻酔法、術中の合併症と患者管理・術後の合併症、歯科外来全身麻酔、小児・高齢者の特徴について理解する。
6. 救急処置と蘇生法	救急処置の基本を身につける。 初期救急、救命処置、蘇生法について理解する。
7. ふり返り総合学習	1回から14回で学んだ重要事項および関連事項について説明できる。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 麻酔・生体管理学－歯科臨床における患者管理法－	谷口省吾、長坂 浩、吉田和市、吉村 節 著	学建書院
B 救急処置ガイド	吉田和市 著	砂書房
C 全身管理ガイド	吉田和市 著	砂書房

参考書		
書名	著者名等	発行所
第6版 歯科麻酔学	古屋英毅 他	医歯薬出版

評価法 (EV)
<p>期末試験 (100%)、出席と受講態度 (減点)</p>

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	麻酔学総論	麻酔の歴史・概念、麻酔の理論・種類を説明できる。	A P2~5の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主にスライドを用いる。	吉田和市	F-1-3) 総X -4-D, X -6-A~H, 必9-A-a, 必10-E-a.b.c
2	4/13	歯科治療時の患者管理	1.手術危険度に影響を与える因子を把握、説明できる。 2. ASA 分類を説明できる。 3.呼吸機能の評価法を説明できる。 4.循環機能の評価法を説明できる。 5.麻酔前回診の目的を列挙し、説明ができる。 6.麻酔前投薬の目的を列挙し、説明ができる。 7.麻酔前投薬として選択される薬剤を列挙し、説明ができる。	A P28~31の主要部分を解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	吉田和市	F-1-3)-(1)-⑤ F-1-3)-(4)-①、② 総X -4-D, X -6-A~H, 総 (IX)-4-A,B
3	4/20	局所麻酔法	1.歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 2.歯科治療時に留意すべき服用薬物を説明できる。 3.小児、妊婦および高齢者への薬物適応上の注意を説明できる。 4.全身疾患を有する患者への薬物適応上の注意を説明できる。	A P6~27の主要部分を解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。B P36~50およびC P8~25を解説する。	吉田和市	F-1-3)-(1)-⑥~⑧ 必15-AB-b, 各 (IV)-3-A-N
4	4/27	局所麻酔法	局所麻酔薬の作用・構造と薬理作用を説明できる。	A P32~36の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	古屋宗孝	F-1-3)-(3) 必16-J-a, 総 (X)-6-A
5	5/11	局所麻酔法	1.局所麻酔法の目的を説明できる。 2.各種局所麻酔薬を分類し、その作用機序を説明できる。 3.局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。 4.血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 5.局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。	A P37~57の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	古屋宗孝	F-1-3)-(3)-①~⑤ 必16-J-a, 総 (X)-6-B
6	5/18	局所麻酔法	局所麻酔時の全身的・局所的合併症を説明できる。	A P55~57, 166~181の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	古屋宗孝	F-1-3)-(3)-⑥ 各 -(IV)-4-A~H, 総 (X)-6-F
7	5/25	精神鎮静法	1.静脈内鎮静法の目的を説明できる。 2.吸入鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 3.静脈内鎮静法の適応と禁忌を説明できる。 4.精神鎮静法の種類を説明できる。 5.精神鎮静法を適切に介助できる。	A P58~67を中心に鎮静法におけるポイントを解説する。 C P27~60を解説する。	吉田和市	F-1-3)-(2)-①~⑤ 必16-J-c, 総 (X)-6-C
8	6/1	全身麻酔法	全身麻酔に必要な自律神経系、呼吸、循環、酸塩基平衡などの人体の生理について説明できる。	A P68~84の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等を板書で解説する。	吉田和市	F-1-3)-(4) F-1-3)-(1) 必15-J-b, 総 (X)-4-E, 総 (IV)-A,B
9	6/8	全身麻酔法	1.全身麻酔の目的を説明できる。 2.全身麻酔の適応と禁忌を説明できる。 3.全身麻酔の種類と特徴を説明できる。特に吸入麻酔法、静脈麻酔法について説明できる。	A P85~109の主要部分を解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。C P63~116を解説する。	吉田和市	F-1-3)-(4)-①~③ 総 -(X)-6-C,D,E,H
10	6/15	全身麻酔法	1.全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。 2.特殊な麻酔法について説明できる。 3.日帰り全身麻酔について説明できる。	A P155~159, 85~116の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	有坂博史	F-1-3)-(4)-③ 総 (X)-6-C,D,E,F,H
11	6/22	全身麻酔法	全身麻酔の実際について説明できる。	A P85~116の主要部分と症例を解説する。C P63~116を解説する。	吉田和市	F-1-3)-(4) 総 (X)-6-F
12	6/29	全身麻酔法	1.全身麻酔の術中の管理と合併症について説明できる。 2.全身麻酔の術あとの管理と合併症について説明できる。	A P117~154の主要部分と症例を例に上げながら解説する。	有坂博史	F-1-3)-(4)-③ 総 (X)-6-E,F
13	7/6	全身麻酔法	1.小児・高齢者の麻酔管理の特徴について説明できる。 2.心身障害の麻酔管理の特徴について説明できる。	A P160~165の主要部分と症例を例に上げながら解説する。主に解説文等をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用いる。	有坂博史	F-1-3)-(4)-①~③ 総 (VIII)-3,5
14	7/13	救急処置と蘇生法	1.意識レベル、呼吸および脈拍の状態を把握できる。 2.気道閉塞および気道確保法を説明できる。 3.呼吸吹き込みによる人工呼吸を説明できる。 4.非開胸心マッサージを説明できる。 5.救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。	A P182~193の主要部をパワーポイントで作製し、プロジェクターを用い解説する。 B P47~101を解説する。 C P13~15を解説する。	木下 勉 (招聘講師) 吉田和市	F-1-5) 総 (X)-3-A~F
15	7/20	総合学習	1回から14回までの総合学習および補強学習	歯科麻酔学の要点を解説する。	吉田和市	